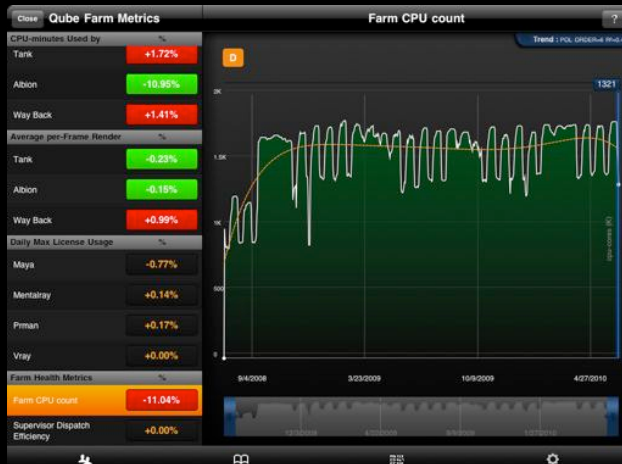
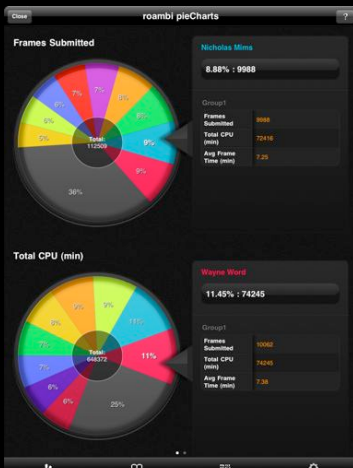


PIPELINE *fx*



Qube!

6 "Smart Farming"



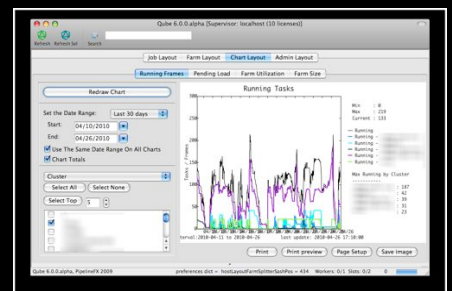
Qube!™ - デジタルメディア制作のためのハイエンド・レンダーファーム管理ソフトウェアの新機能をご紹介します :

iPad/iPhone でのチャートやレポートの表示

革新的なモバイルアプリケーション Roambi Pro を使用することにより、レンダーファームに直接ネットワーク接続してなくても iPad や iPhone でファームのモニタリングが可能になります。Roambi Pro は、レンダリングのレポートデータを魅力的でインタラクティブなモバイルダッシュボードという新しい形で提供することで、携帯端末を活用し、情報の表示/分析/交換/共有や、ファイルの保存/管理/更新をすることを可能にします。ファームのベンディング状況や、稼働率、プロジェクトやユーザー毎のレンダリング時間、ユーザーの比較など、重要なレンダリング・パイプラインの情報が瞬時にアクセスできます。ファームへ直接 VPN 接続が不可能な状況でも、iPhone や iPad を使用して、レンダリングパイプラインの状態を確認することもできます。

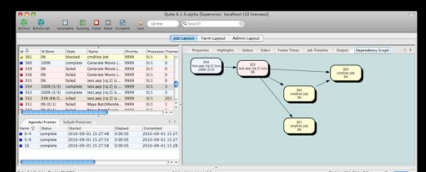
組み込みチャート

Qube! の GUI にはチャートが組み込まれているため、リアルタイムにレンダーファームをモニタリングすることができます。例えば、個々のユーザーもしくはグループ毎の、一定期間におけるファームの利用率を表示したり、あるいは現在の稼働率やジョブの待機状況、処理中のフレーム数やファームのサイズなどを調べることも可能です。ファームの処理キャパシティやアプリケーションのライセンス数などの増大の検討も、実際のプロダクションデータに基づいて判断が下せます。従来では、優れた開発力を持つ大きなスタジオだけが実現でき得たビジネス・インテリジェンスを、Qube! ではコーディングすることなく利用できます。



依存関係のグラフ・ビュー

ジョブやアジェンダ間の依存関係をグラフで可視化・管理できます。色分け、展開された分岐を折り畳むことによるビューの簡素化、ジョブやフレームの動的な操作などの機能を使用することで、問題点を瞬時に発見できます。複雑な従属関係も GUI で正しく、簡単に管理できます。



オート・ラングリング (ジョブとファームの自動管理)

日常的なレンダー・ラングリング (管理) タスクの自動化が、Supervisorにグローバル・パラメータを設定することで実現できるようになりました。オート・ラングリング機能では、障害のあるジョブやノードを、組み込み実装されたロジックにより検出しそれらを自動的にブロックし、ユーザやQube!管理者にメールで報告します。

動的なフレーム割り当て (Dynamic Frame Allocation)

Qube!では動的にフレームを割り当てレンダーファームの負荷を分散することで、Maya、3dsMax、XSI のジョブに対するファーム全体の処理能力を最大限に高めます。各 Worker においてプロンプトモードでアプリケーションを起動し、シーンファイルを一度だけロードしてから、1フレームずつレンダリングするよう指示します。フレームのレンダリング終了時に Worker が次のフレームを要求したら、シーンを再ロードすることなく次のフレームのレンダリングが始まります。必要な場合はフレームレンジを事前にパーティションすることも出来ますが、Dynamic Frame Allocation はレンダーファームの全体的な処理能力を飛躍的に加速させることができます。

浸透性クラスタ

Qube!は、「クラスタ」と呼ばれる階層にホストを分類することで、ユーザーやグループ、場所などを基準に優先順位を指定することができます。特定のクラスタの階層レベルに投入されたジョブは、異なるレベルに投入されたジョブよりも優先順位が高くなるため、ファームのキャパシティを最大限に有効利用しつつも、部署やプロジェクト間でホストの割当てを維持することができます。大学の研究機関でリソースを簡単に共有したい場合などに、特に便利です。

Shotgun ソフトウェアのサポート

Shotgun Version Submission は、Qube!でレンダリング・ジョブを投入する際に、Shot/Asset バージョンを自動作成する機能です。また、Qube!は各レンダリング・ジョブに関連するショットガンのトラッキングデータを自動的に作成/更新します。



Tweak ソフトウェアのサポート

Qube!から Tweak の RV プレイバックを起動、RV 内から Qube!を直接コントロール、また、Qube!でレンダリングされた画像をロードするだけで Qube!メタデータを得ることが可能になりました。例えば、昨夜のレンダリングを朝確認する際に不良フレームが見つかったら、RV に再投入を指示するだけで、そのフレーム (もしくはタスク、全てのジョブ) をレンダリングし直すことができます。



その他たくさんの機能

「スマート・ファームिंग」のコンセプトは、さらに以下の諸機能により実現されています：アプリケーション内からのジョブ投入、ジョブ完了時間の予測、ライセンスリソース管理、自動動画生成、エキスパートとシンプルモードの切り替え可能な投入ダイアログ、レンダリング後の自動画像検証、Python、Perl と C++の API、MySQL プロダクション・データベースとデータウェアハウスのサポート、ジョブの標準出力・標準エラーの解析、フレーム・タイムアウトなどなど・・・

JumpStart サービス

PipelineFX は、すべての規模のデジタルメディア組織に、充実したコンサルティングサービスをご提供しています。御社のレンダーファームの新規導入やアップグレードの際に、レンダリング・パイプラインを加速し、システム導入に起因するリスクを軽減し、投資収益率を最大限に高めるお手伝いをします。当社は、レンダーファームシステムを専門にしたソフトウェア会社としては世界・業界最大手で、サポートエンジニアと開発陣には、レンダリング・パイプラインとデジタルメディア・アプリケーションに精通したエキスパートを配しています。

お問い合わせください!

価格情報、オンラインデモンストレーションのご予約、ソフトウェアの評価などをご希望の際には、御社の PipelineFX の営業担当者か、PipelineFX の販売代理店にご連絡ください。約 500 の主要な VFX スタジオ、ポスプロ、放送局、広告代理店、メーカー、ゲームスタジオ、学校などが、レンダリング・パイプラインの管理に Qube!を使用し、投資効果を最大限に高めています。御社も是非 Qube!の導入をご検討ください。